



2017年9月期決算説明会

2017年11月29日

株式会社 学研ホールディングス

アジェンダ

◎ 2017年9月期決算

◎ 2018年9月期業績見通し

1. 2018年9月期業績見通し
2. 中期経営計画「Gakken 2018」進捗状況
3. 中期経営計画「Gakken 2018」事業戦略 進捗状況



2017年9月期決算

株式会社 学研ホールディングス

常務取締役 中森 知

2017年9月期決算 サマリー

2017年9月期 連結業績

(百万円)

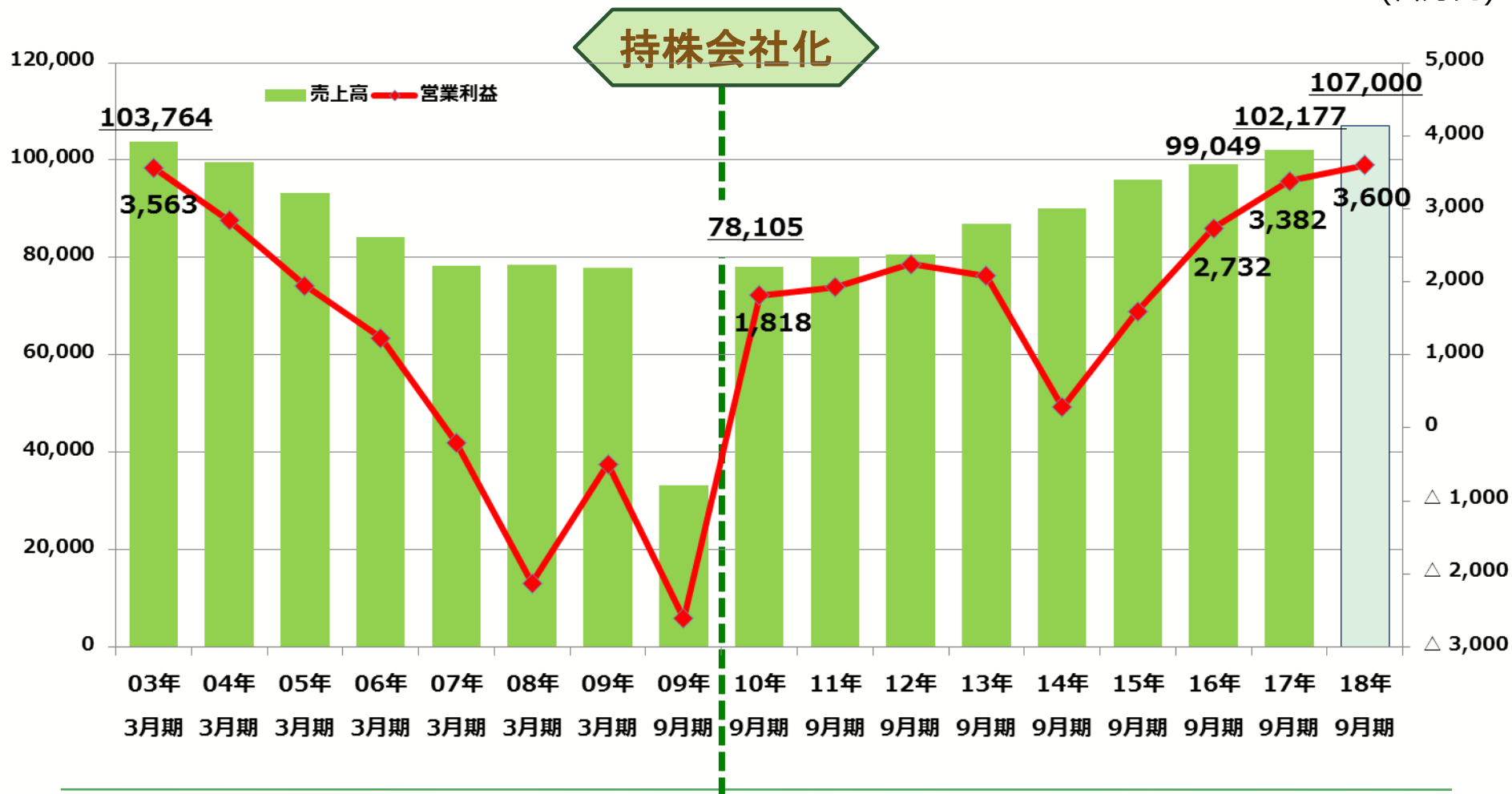
売上高	102,177	前期比	+ 3,128
15期ぶりに売上高1,000億円超え 持株会社制移行後8期連続増収			
営業利益	3,382	前期比	+ 650
15期ぶりに営業利益30億円超え 3期連続増益			
純利益	3,330	前期比	+ 1,962
営業利益増・繰延税金資産の計上などにより大幅増益			
営業C F	5,099	前期比	+ 1,932
収益力の向上により50億円台達成			
R O E	※9.8%	前期比	+ 5.6%

※繰延税金資産計上による増益額（1,166百万円）を除く R O E 概算は6.5 %

売上高・営業利益の推移

15期ぶりに売上高1,000億円、営業利益30億円超

(百万円)



2017年9月期 連結業績

(百万円)

	16年9月期	17年9月期	前期増減	前期比
売上高	99,049	102,177	+ 3,128	103.2%
営業利益	2,732	3,382	+ 650	123.8%
経常利益	2,922	3,525	+ 602	120.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,368	3,330	+ 1,962	243.4%

売上高 増加要因

- ・「医療福祉サービス」…看護師向けe-ラーニングの契約増、福祉事業の成長拡大
- ・「教育ソリューション」…待機児童解消予算の獲得
- ・「教育サービス」…進学塾連結加算2社

営業利益 増加要因

- ・「教育コンテンツ」…出版分野の原価改善
- ・「医療福祉サービス」…売上増加

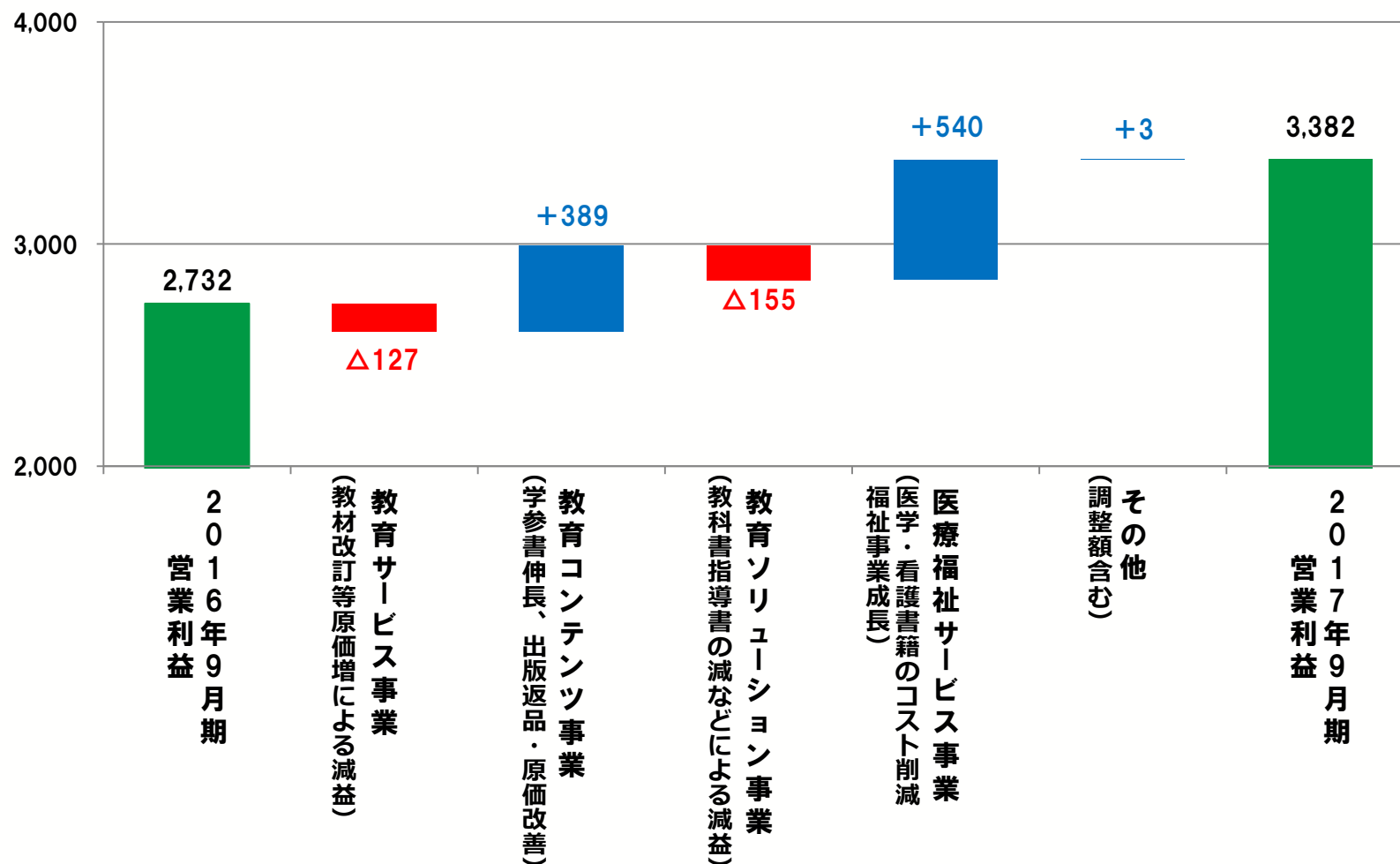
親会社株主に帰属する当期純利益 増加要因

- ・繰延税金資産の計上などで大幅増益

2017年9月期 営業利益増減要因 <前期比>

教育コンテンツの学参書伸長、出版分野の原価改善による増益
医療福祉サービスの事業成長による増益

(百万円)



連結貸借対照表

流動資産：現預金の増加など

固定資産：有形固定資産売却による減、投資有価証券増

固定負債：不動産流動化に伴う長期借入金返済

純資産：親会社株主に帰属する当期純利益増

(百万円)

	16年9月末	17年9月末	増減額
流動資産	46,130	46,538	407
固定資産	30,253	30,325	71
資産合計	76,384	76,863	479
流動負債	23,907	24,464	556
固定負債	19,012	16,195	△2,817
負債合計	42,920	40,659	△2,260
純資産	33,464	36,203	2,739
負債・純資産合計	76,384	76,863	479

連結キャッシュフロー計算書

営業ＣＦ：収益力の向上により50億円台達成

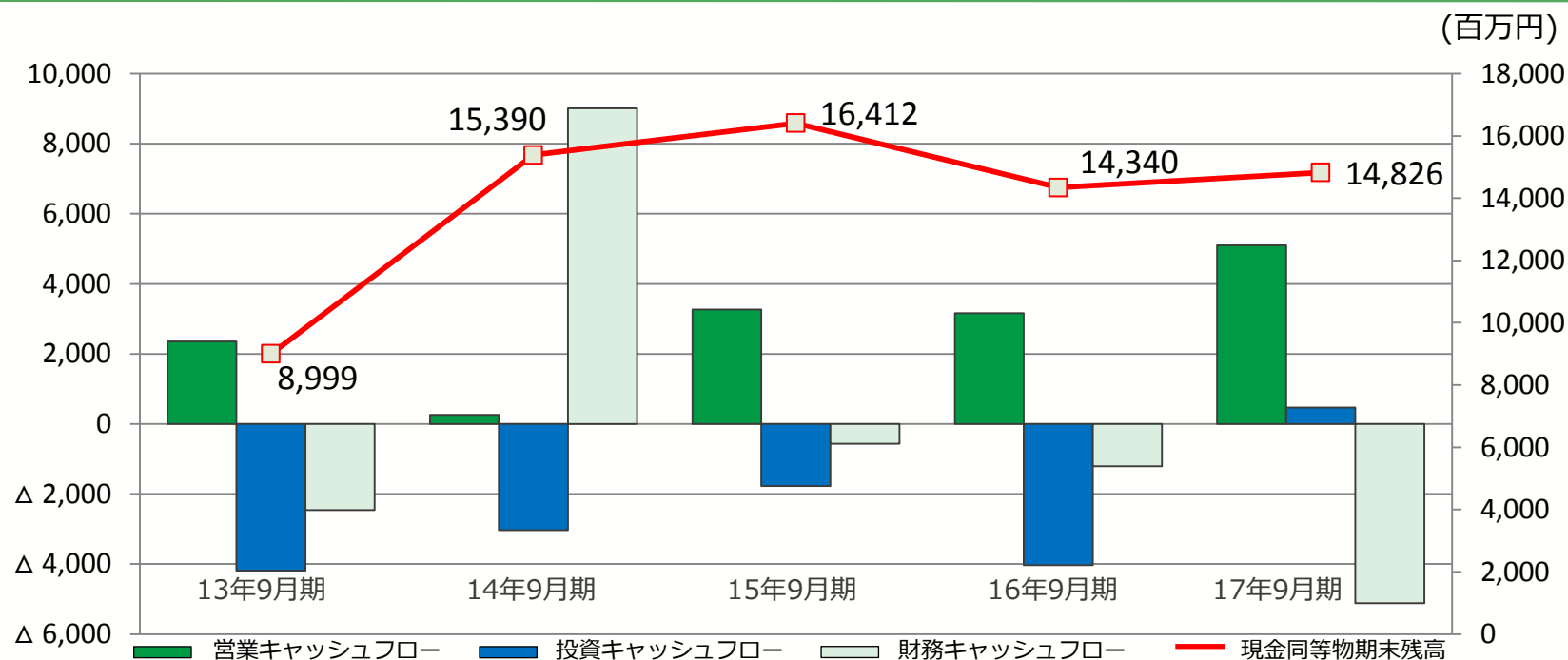
投資ＣＦ：不動産流動化、文理旧本社売却によりプラス

財務ＣＦ：借入金返済・自社株買いなど

(百万円)

	17年9月期	主な要因	16年9月期
営業活動によるキャッシュフロー	5,099	税引前当期純利益 (3,238) 減価償却費+のれん償却 (1,687) 減損損失 (1,050)	3,166
投資活動によるキャッシュフロー	473	有形・無形固定資産(1,584) 投資有価証券(△1,182)	△4,028
フリーキャッシュフロー(ＦＣＦ)	5,573		△861
財務活動によるキャッシュフロー	△5,119	借入金 (△2,103) 子会社株式追加取得(△1,301) 配当金支払(△555) 自己株増減 (△1,004)	△1,210
現金・現金同等物増減額	485		△2,163
現金・現金同等物期末残高	14,826		14,340

連結キャッシュフロー推移



	13年9月期	14年9月期	15年9月期	16年9月期	17年9月期
営業キャッシュフロー	2,357	262	3,271	3,166	5,099
投資キャッシュフロー	△ 4,190	△ 3,032	△ 1,774	△ 4,028	473
フリーキャッシュフロー(FCF)	△ 1,832	△ 2,770	1,497	△ 861	5,573
財務キャッシュフロー	△ 2,455	9,011	△ 569	△ 1,210	△ 5,119
現金・現金同等物の増減額	△ 4,066	6,390	1,021	△ 2,163	485
現金同等物期末残高	8,999	15,390	16,412	14,340	14,826

2017年9月期 セグメント別業績（前期比）

（百万円）

売上高：医療福祉サービス・教育サービス・教育ソリューションなどの寄与により増収
営業利益：医療福祉サービス・教育コンテンツ増益、教育ソリューション・教育サービス減益

セグメント名	項目	16年9月期 実績	17年9月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
＜教育分野＞	売上高	77,006	77,759	+753	+1.0%
	営業利益	2,401	2,508	+107	+4.5%
	教育サービス事業	売上高	27,492	+1,248	+4.5%
		営業利益	1,403	△127	△9.1%
	教育コンテンツ事業	売上高	32,683	△1,551	△4.7%
		営業利益	669	+389	+58.1%
	教育ソリューション事業	売上高	16,831	+1,055	+6.3%
		営業利益	329	△155	△47.1%
＜医療福祉分野＞ 医療福祉サービス事業	売上高	18,908	21,434	+2,525	+13.4%
	営業利益	330	871	+540	+163.9%
その他(調整額含)	売上高	3,132	2,982	△150	△4.8%
	営業利益	△ 1	1	+3	—
合計	売上高	99,049	102,177	+3,128	+3.2%
	営業利益	2,732	3,382	+650	+23.8%

セグメント別業績 ①教育サービス事業

SIGN- 1（市進ホールディングスとの合併会社） コーシン社グループが連結子会社に

(百万円)

●事業概要

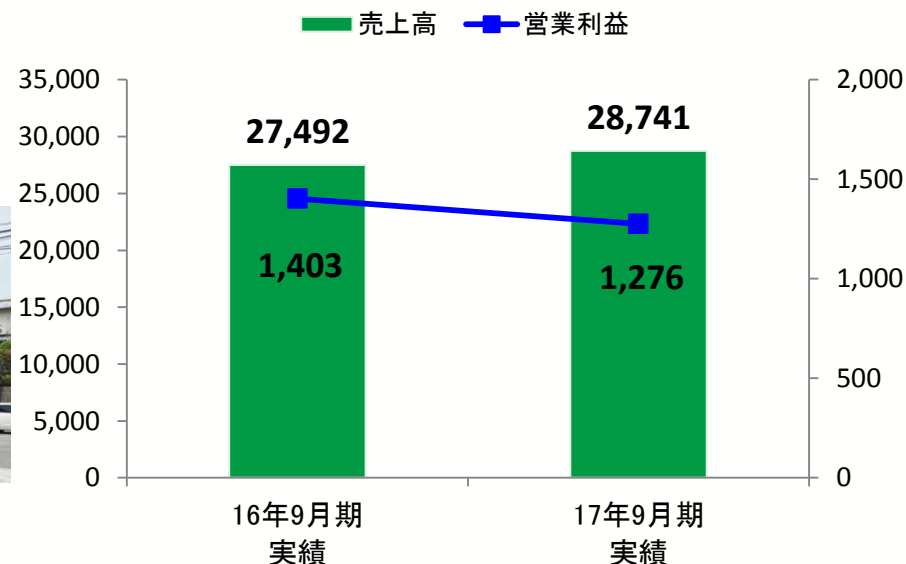
- ・幼児から中学生(主に小学生)を対象とした学研教室の運営
- ・幼児から高校生を対象とした進学塾の運営



学研教室



G-PAPILS



●2017年9月期 前期比増減要因

	売上高	営業利益
1. 学研教室	月謝改定による増収、夏期講習減、ほっぺん事業移管により減収	教材改訂による原価増や人件費増加により減益
2. 進学塾	2社グループインにより増収 集団指導は好不調の二極化、個別指導、家庭教師事業は堅調	SIGN- 1 の教室統合の進捗に課題

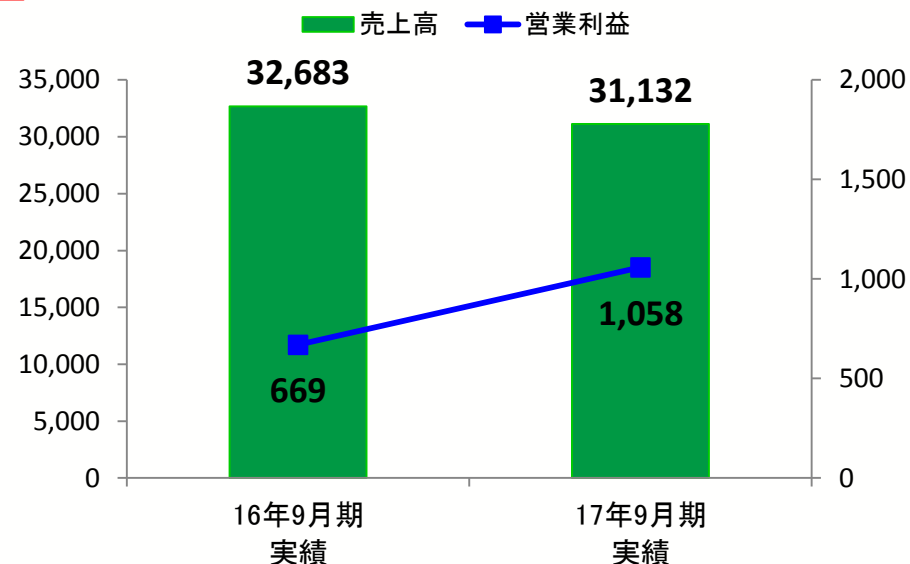
セグメント別業績 ②教育コンテンツ事業

出版物の発行点数減、出版外分野伸び悩みによる減収
出版分野の返品率・原価率改善により増益

(百万円)

●事業概要

- ・取次・書店ルートにおける児童書、学習参考書、一般書・実用書、雑誌等の出版物の発行・販売
- ・教育コンテンツのデジタル・ICT展開、電子出版事業
- ・文具、パーソナル雑貨、教育玩具の開発・販売



●2017年9月期 前期比増減要因

		売上高	営業利益
1. 出版	児童書	旗艦シリーズ「学研の幼児ワーク」堅調 ジャンル全般では競合激化	前期同水準
	学習参考書	新刊は発行点数抑制により減収 既刊は順調な増刷販売で増収	既刊商品群の増売により増益
2. デジタル		電子出版は成長率鈍化により微増 学研ゼミはコンテンツ、会員囲い込み強化	学研ゼミの集客費用等経費増
3. 文具・雑貨		知育トイは売上伸長 キャラクター・ブランド文具低迷	売上減による減益

セグメント別業績 ③教育ソリューション事業

待機児童解消予算関連商品の受注好調 課外教室の会員増加

(百万円)

●事業概要

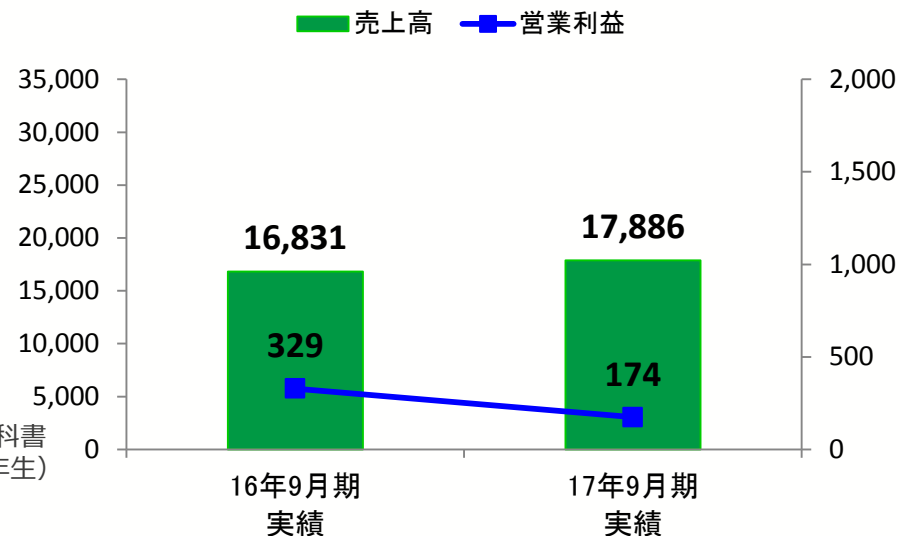
- ・幼稚園・保育園：出版物や保育用品、備品、園服等の製作・販売。幼児児童向け教室事業
- ・小・中・高：教科書・教科書指導書、副読本、特別支援教材や小論文、模試等の製作・販売



←知育教室
もじかずを学ぶ



←道徳教科書
(小学1年生)



●2017年9月期 前期比増減要因

	売上高	営業利益
1. 幼稚園・保育園	待機児童解消予算関連（備品・遊具） ライフスタイル(衣料品) 好調 課外教室会員増	左記の売上増による増益
2. 小・中・高	教科書指導書・副読本売上減 体力テスト受託増	左記の売上減による減益 体力テスト原価高による減益

セグメント別業績 ④医療福祉サービス事業

医療と福祉の融合により成長加速

●事業概要

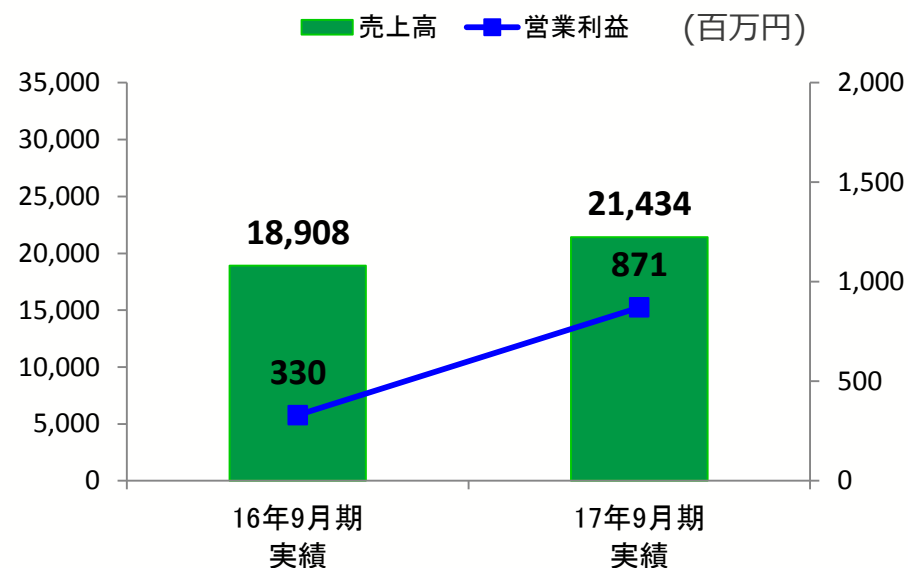
- ・看護書、医学書の発行・販売など
- ・高齢者向け在宅介護サービス拠点など、各種サービスの企画・開発・運営、
- ・保育園・学童保育などの子育て支援事業の企画・開発・運営



【4月開園】ココファン・ナーサリ―浦和前地(埼玉県)



【5月開業】ココファン新町(熊本県)



●2017年9月期 前期比増減要因

		売上高	営業利益
1. 医療		看護師向けe-ラーニング契約増	医学・看護書籍のコスト削減 e-ラーニングの契約増による増益
2. 福祉	高齢者福祉	首都圏・西日本エリアの入居率向上 サ高住9事業所開設 5事業所承継	既存事業所の入居者増加による 収益性向上
	子育て支援	保育園2施設開園、学童3施設運営受託 既存園充足率向上	既存園の充足率向上により増益

MEMO



2018年9月期業績見通し 「Gakken 2018」進捗状況

株式会社 学研ホールディングス
代表取締役社長 宮原 博昭

Gakken

1

2018年9月期 業績見通し

2018年9月期計画

17年9月期の業績、および中期経営計画の進捗状況に鑑み 18年9月期の計画を修正

(百万円)

	16年9月期	17年9月期	18年9月期		修正 増減額	修正 増減率
			当初計画	修正計画		
売上高	99,049	102,177	110,000	107,000	△3,000	△2.7%
営業利益	2,732	3,382	3,500	3,600	+100	2.9%
営業利益率	2.8%	3.3%	3.2%	3.4%	+0.2%	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,368	3,330	2,100	2,600	+500	24%

当初計画は2016年11月14日「Gakken2018」を発表した際の計画です。

修正計画は2017年11月14日に発表しました。

2018年9月期 セグメント別計画

(百万円)

セグメント名	項目	当初計画	修正計画	増減額	増減内容	
＜教育分野＞	売上高	82,800	79,800	△ 3,000		
	営業利益	2,800	2,600	△ 200		
	教育サービス事業	売上高	29,000	30,300	1,300	文理学院が連結に加算
		営業利益	1,300	1,300	0	
	教育コンテンツ事業	売上高	※34,800	31,500	△ 3,300	出版外事業の進捗遅延
		営業利益	900	800	△ 100	
	教育ソリューション事業	売上高	19,000	18,000	△ 1,000	教科書・指導書の減額修正
		営業利益	600	500	△ 100	
	＜医療福祉分野＞	売上高	※24,200	24,200	0	事業成長による採算性加速
	医療福祉サービス事業	営業利益	700	1,000	300	
その他(調整額含)	売上高	3,000	3,000	0		
	営業利益	0	0	0		
合計	売上高	110,000	107,000	△ 3,000		
	営業利益	3,500	3,600	100		

※2016年11月14日に発表した中期経営計画「Gakken2018」の売上高を修正しました。

教育コンテンツ事業 36,000 ⇒ 34,800、医療福祉サービス事業 23,000 ⇒ 24,200

グループ合計は変更ありません。

Gakken

2

中期経営計画

「Gakken 2018」進捗状況

持続的成長へのテイクオフに向けた 体制は整った

- ・ 収益力の向上（営業利益・営業C F増）
- ・ 資本効率の向上（R O E上昇）



事業面でのさらなる基盤強化により 中期計画の完遂を目指す

- ・ 教育分野・医療福祉分野とも収益構造をより強化
- ・ 新規事業への投資は時間軸で判断

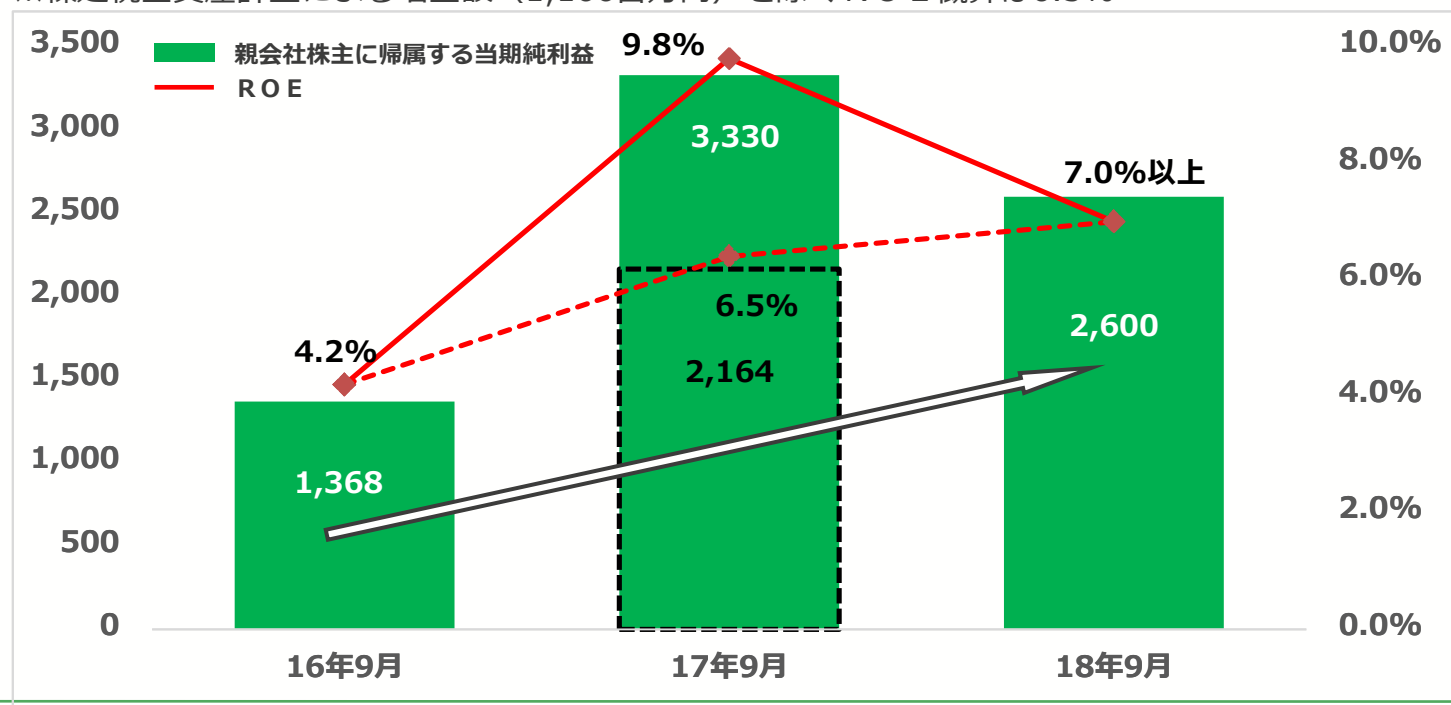
経営方針 <資本効率の向上と株主還元>

収益性を高めてR O E 7%以上を目指す

(百万円)

	16年9月期	17年9月期	18年9月期計画
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,368	3,330	2,600
R O E (%)	4.2	※9.8	7.0以上

※繰延税金資産計上による増益額（1,166百万円）を除く R O E 概算は6.5%



経営方針 <資本効率の向上と株主還元>

株主還元を拡大

	16年9月期	17年9月期	18年9月期 計画
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	1,368	3,330	2,600
1株当たり当期純利益（円）	149.42	365.52	292.50
配当性向（％）	40.2	16.4	23.9
※年間配当（円）	普通配当5.00 記念配当1.00	普通配当60.00	普通配当70.00

※2017年4月1日付けで普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。
当該株式併合を踏まえて換算した場合、2016年9月期の1株当たり年間配当額は60円となります。

経営方針 <経営基盤の強化>

		戦略	施策
戦略	経営	グループ戦略の立案・実行管理体制の強化 コーポレートガバナンスコード対応推進 コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・HDのコーポレートサポート機能強化 ・e-ラーニングによる社員教育の推進
	事業	セグメントごとの責任体制へ移行 <ul style="list-style-type: none"> ・セグメントの権限強化 ・グループ戦略に基づく実行管理体制の強化 営業戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・地域本部による地域密着型、提案力向上 ・グループ内シナジーの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・セグメント会議の設置 ・エリア戦略体制の確立
	機能	間接業務の効率化と品質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・管理間接業務の効率化と継続的なコスト削減 ・グループの物流機能向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方事業所のコスト削減 ・物流機能の集約
財務		成長投資と財務安全性のバランス重視	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産流動化
組織人事		経営人材の育成 組織風土「知る・挑む・創る」の進化、深化 ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社内人材育成制度の定着 ・ダイバーシティ推進室強化

Gakken

3

中期経営計画

「Gakken 2018」事業戦略
進捗状況

セグメント別トピックス

●教育サービス事業

「G-PAPILS」「ロボットプログラミング」など新サービスの開始

●教育コンテンツ事業

「学研ゼミ」「学研プライムゼミ」「英語教育事業」への継続投資

●教育ソリューション事業

小学校道徳教科書の採択決定

幼児教育無償化

●医療福祉サービス事業

配食サービス、認知症予防教室など新サービスの開始

看護師向けe-ラーニング事業の拡大

教育分野 事業戦略＜教育サービス事業＞

**方針：教室・校舎の積極拡大とそれを加速させる戦略商品の開発で、
将来に向けて盤石の収益体制を構築する**

	重点施策
学研教室 (国内)	<ul style="list-style-type: none">・従来型フランチャイズ教室と法人契約教室※の積極展開による教室数、会員数拡大・顧客視点での多様な教育サービスの提供 (学研ゼミサポートコース※・中高生部門増設)
学研教室 (海外)	<ul style="list-style-type: none">・中韓、ASEANにおける学研教室型ビジネスモデルの展開
進学塾	<ul style="list-style-type: none">・校舎数拡大と学研ゼミを起点とする新規顧客づくり・新しい個別学習システム「G-PAPILS」の試行と普及拡大

※法人契約教室…自宅の一室を教室として運営する従来型のF Cと異なり、法人が本業とのシナジー創出等を目的に開業するF C塾事業の形態

※学研ゼミサポートコース…学研ゼミの学習ドリル利用者を対象に、学研教室で月1回の学習カウンセリングを廉価で行うサービス

教育分野 事業戦略＜教育サービス事業＞

	2017年9月期の主な進捗状況	今後の主な対策
学研教室 (国内)	<ul style="list-style-type: none"> 法人契約教室は拡大の一方、既存のF C教室の閉鎖等で伸び悩み ロボットプログラミングコース：500教室で開始 学研ゼミサポートコース：3500教室組織、受け入れ体制を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 法人契約教室：組織拡大とアライアンス強化を図る 学研ゼミサポートコース：スマートドリル※をコアコンテンツとして再スタート
学研教室 (海外)	<ul style="list-style-type: none"> タイ、ミャンマーでの17F Cを組織 インドネシア スラウェシ島 パレパレ市のアフタースクール※を本格スタート 	<ul style="list-style-type: none"> 中国、香港での科学教室の拡大
進学塾	<ul style="list-style-type: none"> 「G-PAPILS」は7社、72教室、約2000名に 那覇市、金沢市の2法人とF C先行契約成立 	<ul style="list-style-type: none"> 運営、生徒募集のノウハウ集積と共有 展開教室の積極的拡大

※スマートドリル…学研ゼミの学習ドリルのひとつ。ゲーム感覚に富んだワンダードリルと比較して、学習色が強い

※アフタースクール…現地向けにローカライズした学研教室の算数教材と指導ノウハウ。小学校で放課後の個別学習を展開している

AIで個別対応 自立型の塾 <教育サービス事業>

G-PAPILSは「人工知能を活用した次世代型の個別学習塾」

●学研グループの強みを最大限に活かした学習メソッド

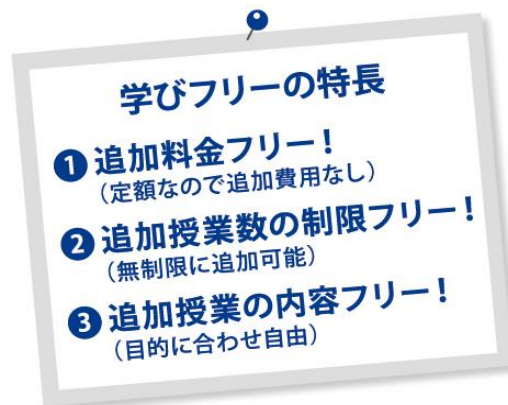


学研の強みに新たな技術を	G-PAPILSの学習メソッド
経験豊富な実力派講師の授業 ⇒映像化	自分のペースで進められる “高品質な映像授業”
豊富な学習コンテンツ ⇒人工知能(AI)との融合	一人ひとりに最適な教材で “アダプティブラーニング”
「やる気」育成のしくみ ⇒ビッグデータ活用	理解度の可視化と “メンタリングメソッド”

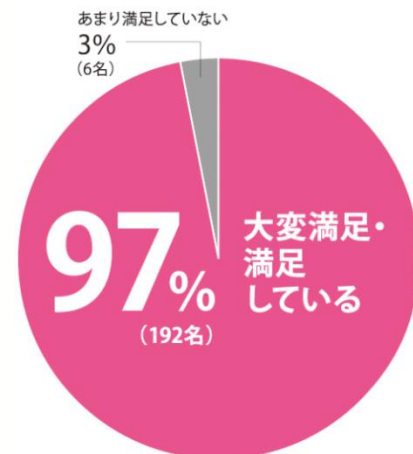
●定額制で学び放題の“学びフリー”コース

※“学びフリー”商標登録5979280号

- ★理解度に不安がある場合も…
- ★やる気満々の時こそ…
- ★テスト前の集中学習に…



●受講生の97%が『満足』と回答



教育分野 事業戦略 <教育コンテンツ事業>

**方針：出版からコンテンツ事業への業態転換を推進
事業の多様化を図り、安定的に利益を創出する**

	重点施策
出版	<ul style="list-style-type: none">・ 競合の追随を許さないコンテンツ開発力をさらに磨き、学研プラス+文理の連携で学習参考書、児童書の市場を席巻
出版プラス※	<ul style="list-style-type: none">・ コンテンツ開発力を活かした多世代向け英語教育事業の展開・ 塾、予備校に配信中の大学受験用映像教材「学研プライムゼミ」の講座拡充と学校、家庭への販路拡大
デジタル	<ul style="list-style-type: none">・ 教育総合ポータルサイト「学研ゼミ」のコンテンツ拡充と会員獲得・ 電子出版の商品点数と販路拡大

※出版プラス…ブランドやコンテンツの活用による、出版の枠を超えた「受託」「通販」「WEB広告」「イベント」「プロパティライセンス」等の事業

教育分野 事業戦略 <教育コンテンツ事業>

	2017年9月期の主な進捗状況	今後の主な対策
出版	<ul style="list-style-type: none"> 企画精選、ヒット創出、既刊増売による返品率改善で利益率拡大 発注、在庫管理の高度化 	<ul style="list-style-type: none"> 学習参考書：2020年新指導要領全面実施に向けた改訂の準備 英検対策学参等、英語学習分野に注力 塾向けテスト提供事業を開始
出版プラス	<ul style="list-style-type: none"> 学研プライムゼミ：売上計画達成 オンライン英会話：売上計画達成 TGG※：2018年9月末開業に向け予約獲得順調 	<ul style="list-style-type: none"> 学研プライムゼミ：グループ内外の塾や高校への提供拡大。個人向け講座数拡大 オンライン英会話：学力上位校を中心に営業 STEAM教育※コンテンツの試行
デジタル	<ul style="list-style-type: none"> 学研ゼミ：リニューアル（2018年3月）準備 電子出版：定額制サービス堅調、単品販売は足踏み。自治体採用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 学研ゼミ：コンテンツ拡充、インタフェースの強化 電子出版：文教市場や図書館への拡大展望

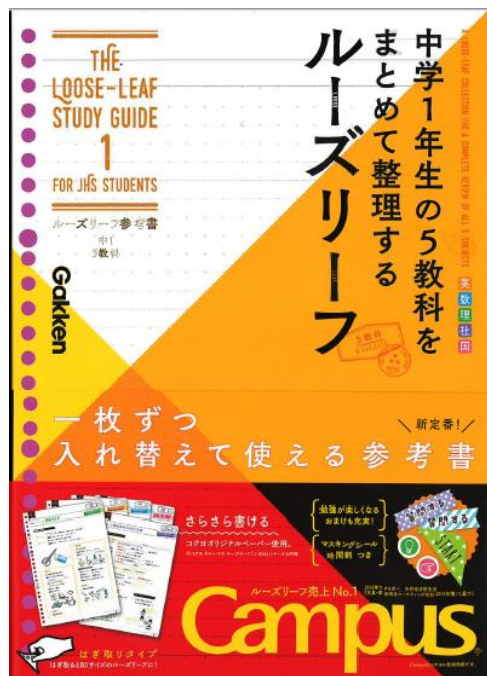
※TGG…株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAY。児童・生徒が英語を使用する楽しさや必要性を体感し、英語学習の意欲向上のきっかけ作りとなるよう、東京都教育委員会とともに、いわゆる英語村として体験型英語学習施設を東京・青海に開業（2018年9月予定）

※STEAM教育…Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術）、Mathematics（数学）のそれぞれの単語の頭文字をとった、理数系科目や芸術領域に力を入れる教育法。プログラミングやものづくり教育が例。

児童書・学参書でのヒット<教育コンテンツ事業>

コクヨのルーズリーフ用紙を使った
書き込めるノート×学参

- 中学生向けシリーズ
「ルーズリーフ学参」
刷部数は累計18万部超



小学校高学年以上に圧倒的支持。
読みやすくハイクオリティの短編集

- 児童書（ヤングアダルト）
「5分後に意外な結末」シリーズと
派生企画の「5秒後」シリーズ
累計120万部



教育分野 事業戦略 <教育ソリューション事業>

**方針：商品競争力と提案力の強化により顧客満足度を高め
収益性を向上させる**

	重点施策
幼稚園 保育園	<ul style="list-style-type: none">・ 幼稚園教育要領、保育所保育指針改定（訂）を見据えた新商品の開発・ 知育教室の普及拡大
小学校 中学校 高校	<ul style="list-style-type: none">・ 学習指導要領改訂に伴い、強みを活かして新領域へ挑戦・ 周辺事業の拡大
営業組織	<ul style="list-style-type: none">・ 販売チャネルの再編統合、地域本部との連携による営業体制の強化

教育分野 事業戦略 <教育ソリューション事業>

	2017年9月期の主な進捗状況	今後の主な対策
幼稚園 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・三法令※改定（訂）を受けた教師用書籍の製作・販売 ・教室事業の環境分析と対策立案 ・英語教室新規開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育商品の選択と集中による収益力強化 ・保育と教室部門の統合 物販と役務サービスの提案営業 知育教室の新規開園数増加
小学校 中学校 高校	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度用小学校道德教科書の採択決定 ①部数：約98万部、シェア約15%、第4位（全8社中） ②採択地区数：3位（全8社中） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領改訂に伴い新領域へ挑戦
営業組織	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会への販売促進強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売子会社による都市部の営業強化 ・クラウド型 営業支援/顧客管理システム導入によるデータベースマーケティングの推進

※三法令…①保育所保育指針②幼稚園教育要領③幼保連携型認定こども園教育・保育要領
ポイントは幼児教育としての共通性確保、発達と学びの連続性を乳児保育から小学校接続まで明確にすること

教科書発行スケジュール予定 <教育ソリューション事業>

今後の小学保健・道徳、中学保健体育・道徳の教科書発行スケジュール予定

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
小学保健	検定				△				△	
	採択					●				●
	使用開始	◎					◎			
中学保体	検定					△				△
	採択	●					●			
	使用開始		◎				◎			
小学道徳	検定		△		△				△	
	採択			●		●				●
	使用開始				◎		◎			
中学道徳	検定			△		△				△
	採択				●		●			
	使用開始					◎		◎		

△検定 ●採択 ◎使用開始

医療福祉事業戦略 <医療福祉サービス事業>

方針：「学研版 地域包括ケアシステム」の実現を目指し、事業拡大を推進するとともに、収益力向上を図る

	重点施策
介護	<ul style="list-style-type: none">・ 入居率向上・ 介護事業の拠点数拡大（サ高住・訪問看護）・ ニーズに即した高品質なサービス提供（配食サービス・認知症予防教室）
保育	<ul style="list-style-type: none">・ 保育園・学童保育の拠点数拡大・ 保育サービスの品質向上・ 良質な保育人材の安定的な確保・ 保育士教育プログラム確立（保育教育e-ラーニング）
医療	<ul style="list-style-type: none">・ 医学、看護、介護分野の書籍の開発強化・ e-ラーニングコンテンツの開発強化

医療福祉分野 事業戦略 <医療福祉サービス事業>

	2017年9月期の主な進捗状況	今後の主な対策
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・入居率は首都圏好調 湘南伸び悩み ・新規9事業所出店 金沢5事業所事業承継 ・訪問看護2事業所開設 ・配食6事業所、認知症予防教室6事業所でスタート 	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス（学研のあんしん配食）11拠点に拡大 ・認知症予防教室（学研大人の教室）10拠点に拡大
保育	<ul style="list-style-type: none"> ・新規2園開園、学童3施設運営受託 ・「学研アプローチ」「運営ガイドライン」の浸透 ・学研の絵本・ワークの活用とナーサリー文庫全園開始 ・保育教育e-ラーニング開発中 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成校開校予定（学研アカデミー 保育士養成コース） ・保育園内スタッフ向けコンテンツの制作
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・医学書好調（画像診断、皮膚科） ・看護教育e-ラーニング伸張 ・介護教育e-ラーニング開始 ・訪問看護e-ラーニング2種類開発中 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の介護事業向けに加え、海外へも展開

保育士養成校オープン予定 <医療福祉サービス事業>

2018年4月 蒲田にて保育士養成校オープン予定

厚生労働大臣指定 保育士養成施設 (指定申請中)

2018年4月
JR蒲田駅東口(徒歩2分)にオープン予定!

学研アカデミー 保育士養成コース

国家試験の受験なしで
保育士資格が取得できます!

※詳しくは裏面をご覧ください。

資格を取って、安定した仕事につきたい
子どもと関わる仕事がしたい
少ない時間で効率よく資格を取りたい

まずは説明会にご参加ください。お気軽にお問い合わせを!

オープンキャンパス開催中!

11/25 (土) 12/9 (土) 12/16 (土)
1/13 (土) 1/27 (土) 2/10 (土) 2/24 (土)

時間: 各日14:00~ **ご予約不要・入場自由**

会場 学研アカデミー (東京都大田区蒲田5-40-16 蒲田第3ビル3F)

平日も現地で説明会を随時開催! お電話にて「ご予約」をお願いいたします。

学費や資格、説明会の日程についてなど、お気軽にお問い合わせください!

学研 **ココ坊** Staff 株式会社 学研ココファンスタッフ **TEL.03-6431-1862**
学研アカデミー 保育士養成コース ☎ **0120-512-558**

いろんな方の「働きたい」想いを、私たちは応援しています。

学研アカデミー **4** つの特長

- 卒業と同時に資格が取得できる**
厚生労働省指定 保育士養成施設
- ライフスタイルに合わせた**
昼間コースと夜間主コース
- 「学研」ならではの**
現場と密接したカリキュラム
- 幅広い年齢層がいるから**
安心して通えます

学研アカデミーには年間通学すると、卒業と同時に保育士資格が取得できます。保育士国家試験が免除になるので資格が取りやすい!

※指定申請中

学研アカデミーでは昼と夜間の2コースをご用意。子育ての合間に「仕事の後に」などライフスタイルに合わせて選べます。

首都圏に37の保育園・子ども園を運営している学研グループならではの保育の現場と密接したカリキュラム。また、「ヒコロ」あそびと遊ぼう、12歳など保育関連の図画事業で磨いたノウハウを惜しみなくご提供します。

子育て中の方、社会人として働きながら通学するなど、様々な方が通われる学研アカデミー。夜間以外の情報交換など、充実したコミュニケーションも、あなたのプラスに。

学研アカデミー コースのご案内

※コースの時間割は予定であり、変更になる場合があります。

昼間コース 朝8時、お子さんが幼稚園に行っている方へ!

1時限目	9:30~11:00
2時限目	11:10~12:40
3時限目	13:30~15:00(定時退校時)

夜間主コース 例えば、日中の仕事が終わったあとに!

1時限目	18:00~17:30(定時退校時)
2時限目	18:20~19:50
3時限目	20:00~21:30

まずはオープンキャンパスにご参加ください!

学研アカデミー 保育士養成コース

お問い合わせ 学研ココファンスタッフ アカデミー事業室

TEL.03-6431-1862 ☎ 0120-512-558
E-mail: gakken-academy@cocofump.co.jp

おのQRコードを読み取っていただくと、その近況メール送信ができます。

スマートフォンの方は

Gakken

補足資料

STEAM事業/ロボットプログラミング<教育サービス事業>

① 背景

- ・2020年公教育におけるプログラミング必修化
- ・大学入試改革や公立一貫校適性検査での親和性指摘（21世紀型スキル）

② 事業スキーム

- ・アーテックと協業での特徴的（科学と学習的）カリキュラム
- ・グループ塾、学研教室、学習塾、PCスクールへの展開
- ・ノンテリトリー、非FCで高い自由度

③ 進捗状況

- ・11月現在 600教室 1500会員
- ・総務省プロジェクトに採用（受託）
- ・自治体（教育委員会）への促進（品川区など）開始

④ 今後の展開

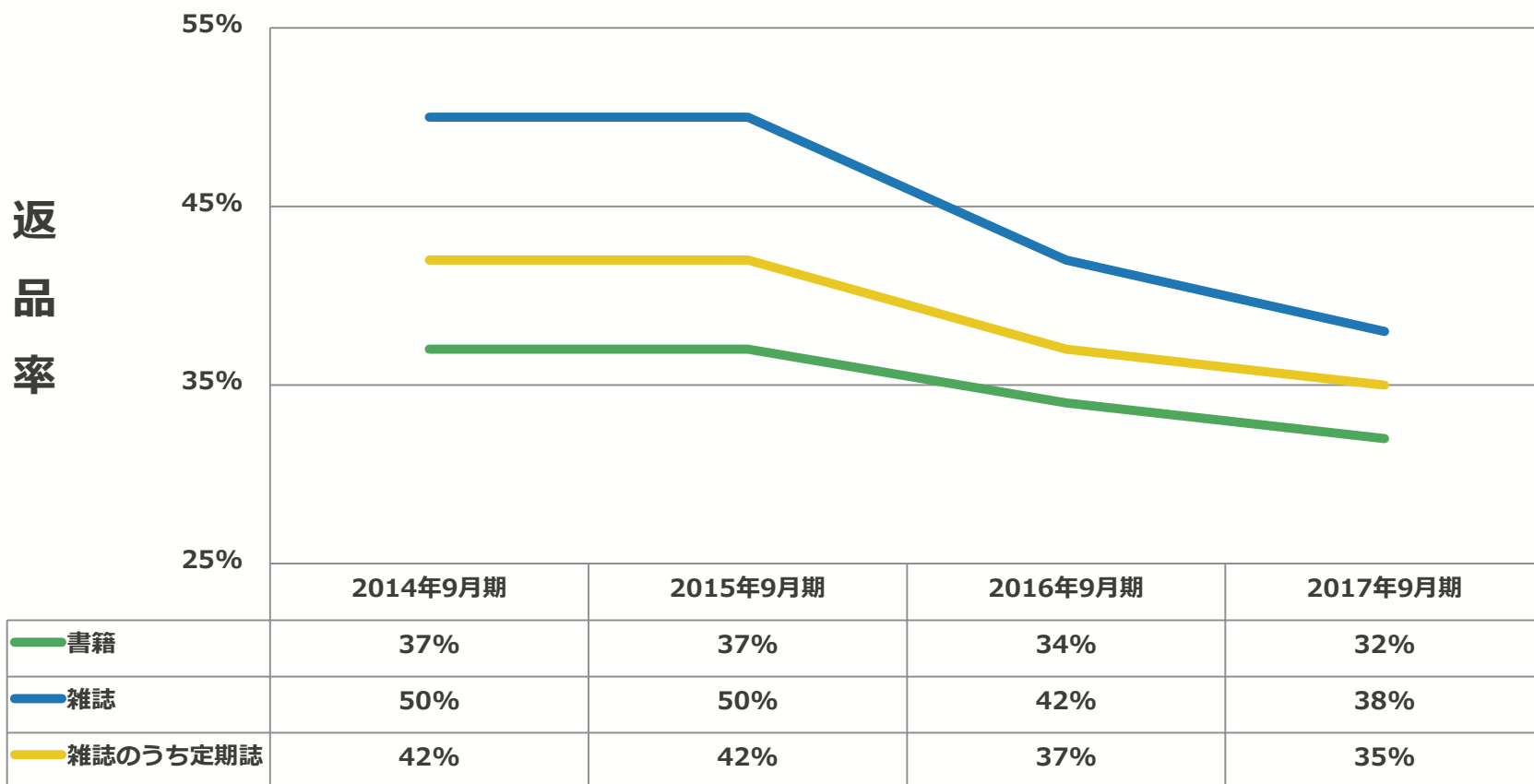
- ・カスタマイズによる公教育への展開
- ・私立小学校アフタースクールへの促進
- ・シニア・大人向け講座としての販売
- ・生徒評価&講師資格の検討
- ・低学年&コース終了後のコンテンツ開発検討



出版事業返品率の推移＜教育コンテンツ事業＞

企画の精選と発注管理の高度化により返品率が改善

返品率の推移

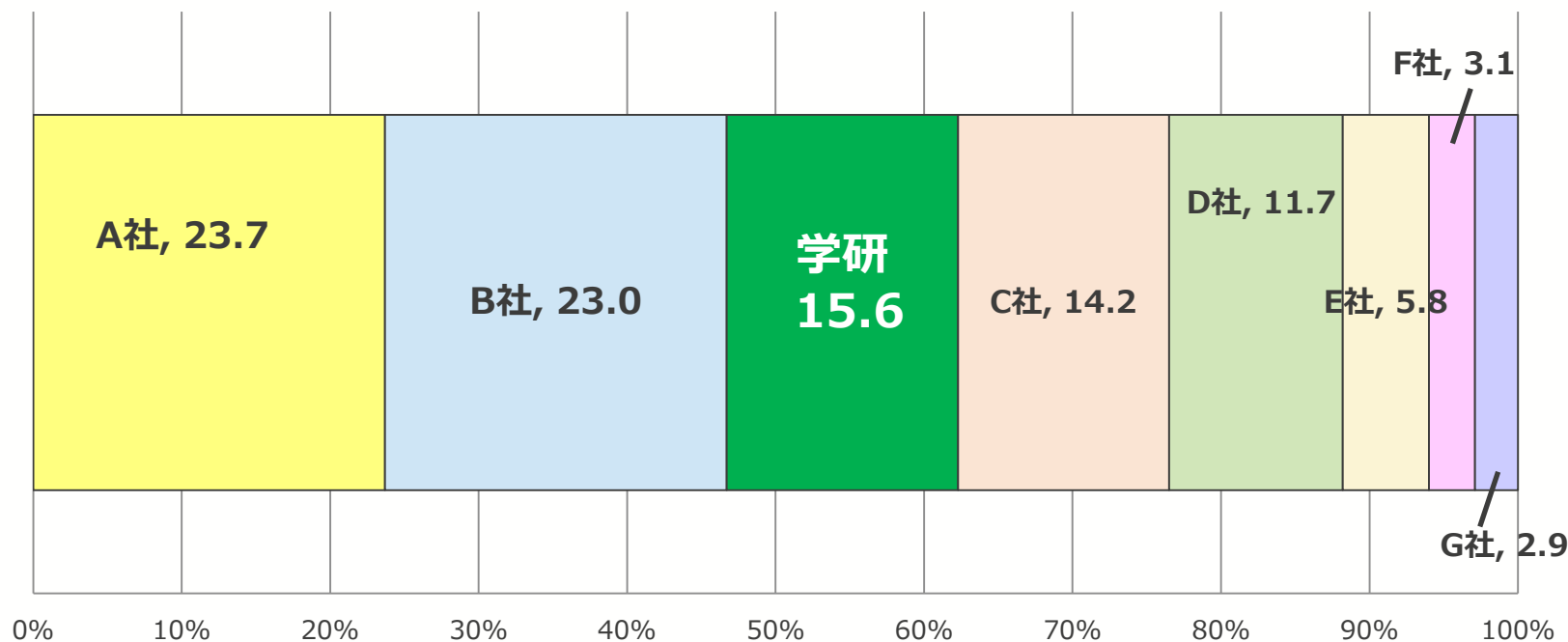


道徳教科書の採択 採択地区占有率 <教育ソリューション事業>

①全国:3位 15.6%

②東日本（静岡・長野・新潟以東）:2位 21.5%（日本教育新聞2017年11月6日付より）

「特別の教科 道徳」教科書 全国の採択地区占有率（%）



事業展開の状況 <医療福祉サービス事業>

開設実績

開設拠点数	16年9月期(通期)		17年9月期(通期)		17年9月期 (累計)	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
高齢者施設	9	8	9	14	112	117
子育て支援施設 (保育園)	4	4	4	2	39	37
子育て支援施設 (学童・民設民営)	1	1	0	0	3	3
子育て支援施設 (学童・公設民営)	0	0	10	3	10	3

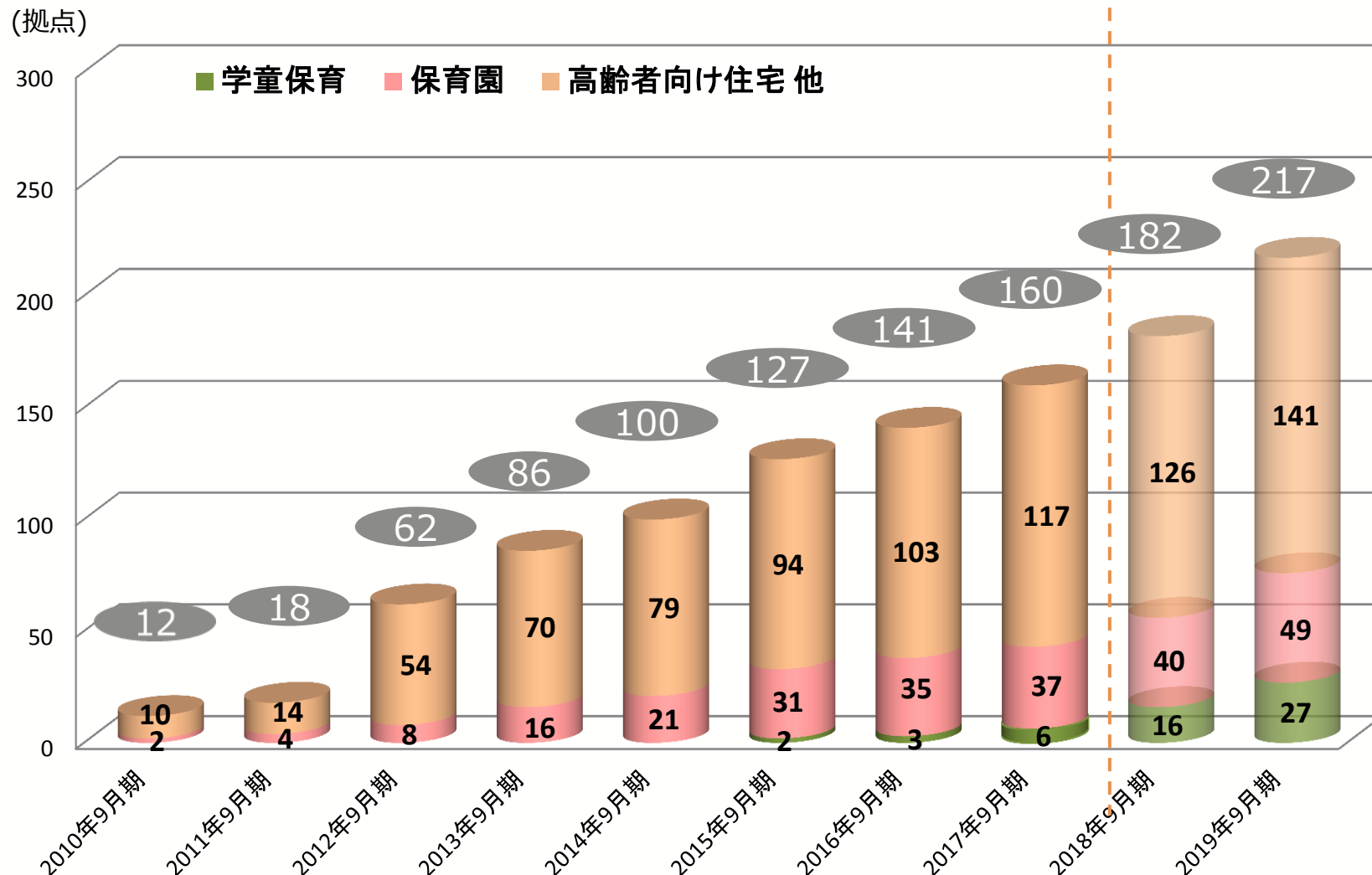
17年9月期の地域別開設状況

開設数	開設地域
高齢者施設	東京都 (1) 神奈川県 (2) 千葉県 (2) 静岡県 (1) 石川県 (5) 京都府 (1) 熊本県 (2) 《計14拠点》
子育て支援施設 (保育)	埼玉県 (2) 《計2拠点》
子育て支援施設 (学童)	神奈川県 (3) 《計3拠点》

18年9月期の地域別開設予定

開設数	開設地域
高齢者施設	東京都 (1) 神奈川県 (4) 千葉県 (1) 静岡県 (1) 愛知県 (2) 《計9拠点》
子育て支援施設 (保育)	東京都 (1) 神奈川県 (1) 埼玉県 (1) 《計3拠点》
子育て支援施設 (学童)	未定 (10) 《計10拠点》

開設推移及び予定 <医療福祉サービス事業>

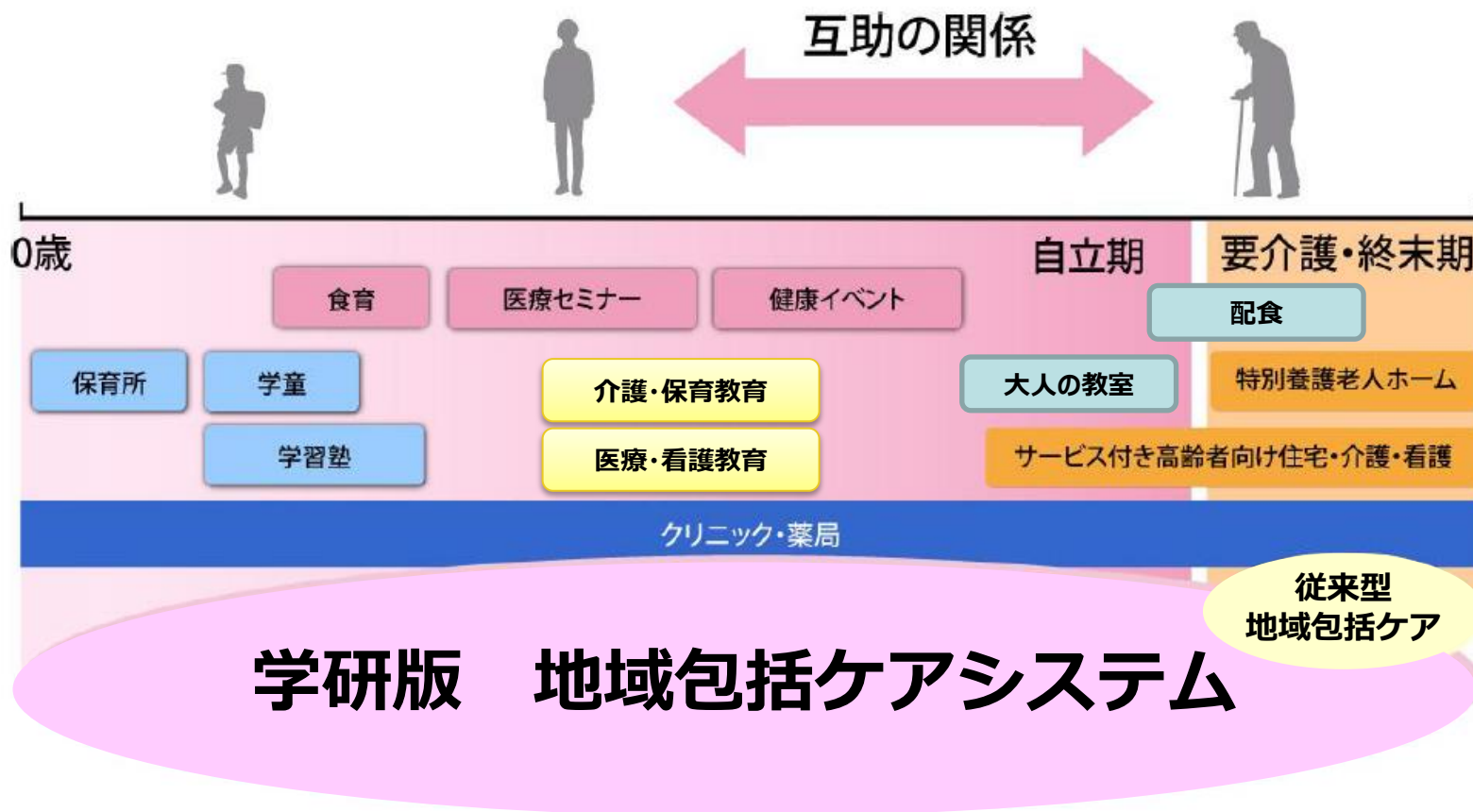


入居率・充足率の状況 <医療福祉サービス事業>

			16年9月末		17年9月末		18年9月末
			計画	実績	計画	実績	計画
高齢者 福祉 事業	首都圏	総戸数	2,425	2,425	2,839	3,060	3,544
		入居数	2,237	2,201	2,548	2,773	3,177
		入居率	92.2%	90.8%	89.7%	90.6%	89.6%
	湘南	総戸数	962	962	962	962	962
		入居数	871	829	904	861	884
		入居率	90.5%	86.2%	94.0%	89.5%	91.9%
	西日本	総戸数	1,388	1,346	1,381	1,381	1,431
		入居数	1,131	1,082	1,280	1,151	1,289
		入居率	81.5%	80.4%	92.7%	83.3%	90.1%
	合計	総戸数	4,775	4,733	5,182	5,403	5,937
		入居数	4,239	4,112	4,732	4,785	5,350
		入居率	88.8%	86.9%	91.3%	88.6%	90.1%
子育て支援事業 (保育園)		定員数	2,178	2,178	2,317	2,296	2,486
		園児数	1,792	1,838	2,044	2,000	2,178
		充足率	82.3%	84.4%	88.2%	87.1%	87.6%

学研版 地域包括ケアシステム <医療福祉サービス事業>

子ども・子育て世代・高齢者…
世代を越えてひろがる「つながり」



環境認識

政治

- ◆「一億総活躍社会」規制緩和・財政支援
 - ・待機児童解消、介護離職防止
- ◆学習指導要領の改訂
 - ・幼稚園教育要領、保育所保育指針改定（訂）
 - ・英語教育改革
 - ・高校、大学入試制度改革
- ◆2018年診療・介護報酬同時改定
 - ・地域包括ケアシステムの整備
- ◆コーポレートガバナンスコードを意識した企業経営

経済

- ◇国内経済成長の鈍化
- ◆東南アジアなどの新興国経済の成長
- ◆グローバル人材育成

社会

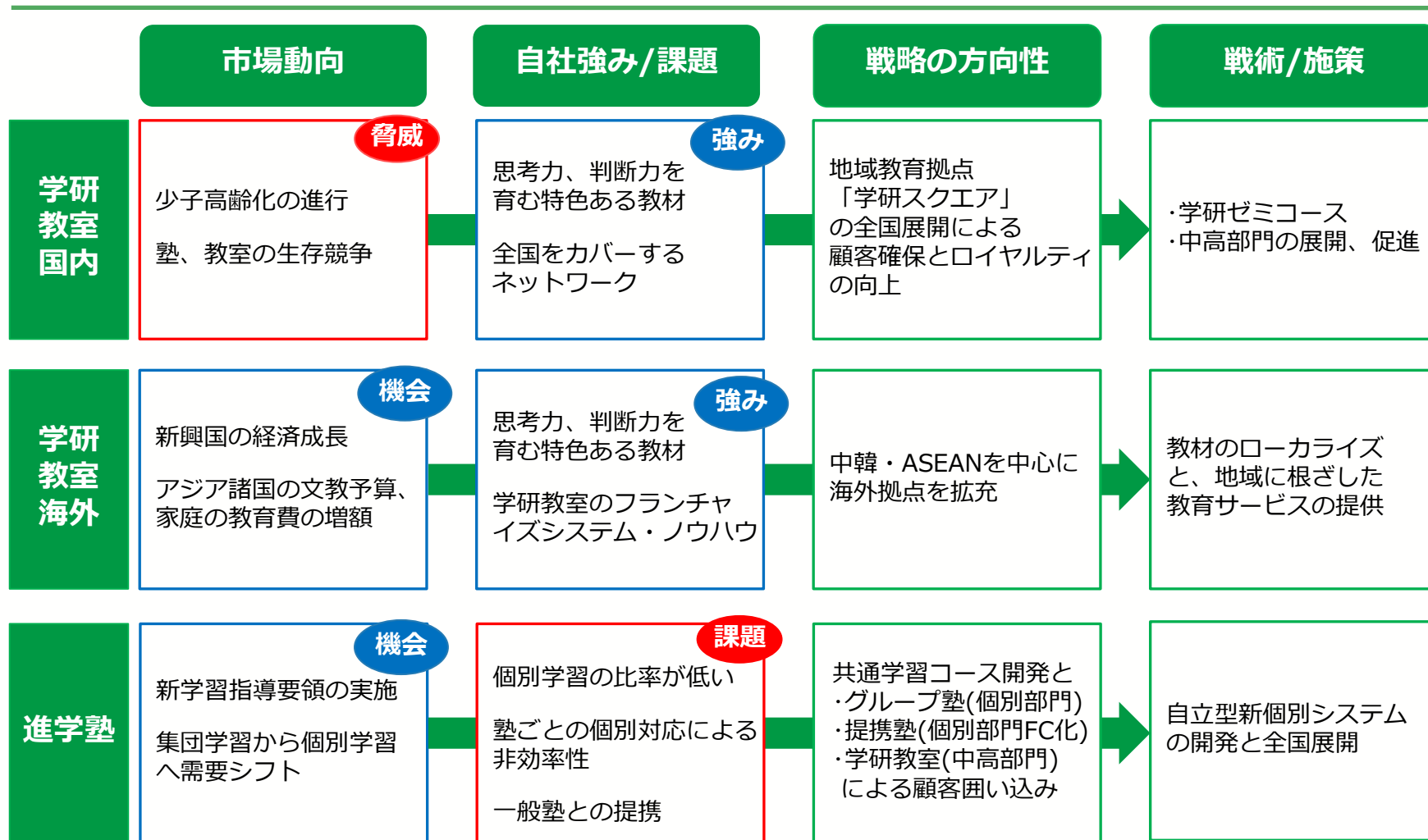
- ◇少子化の進行
- ◆高齢化の加速(2025年問題)
- ◆大都市圏への人口集中
- ◇労働人口減少
- ◆スマホ・タブレットの普及によるライフスタイルの変化

技術

- ◆IT技術の高度化
(デジタル、ICT化)

【2016年9月期 決算説明会資料より】

教育分野 戦略マップ <教育サービス事業>



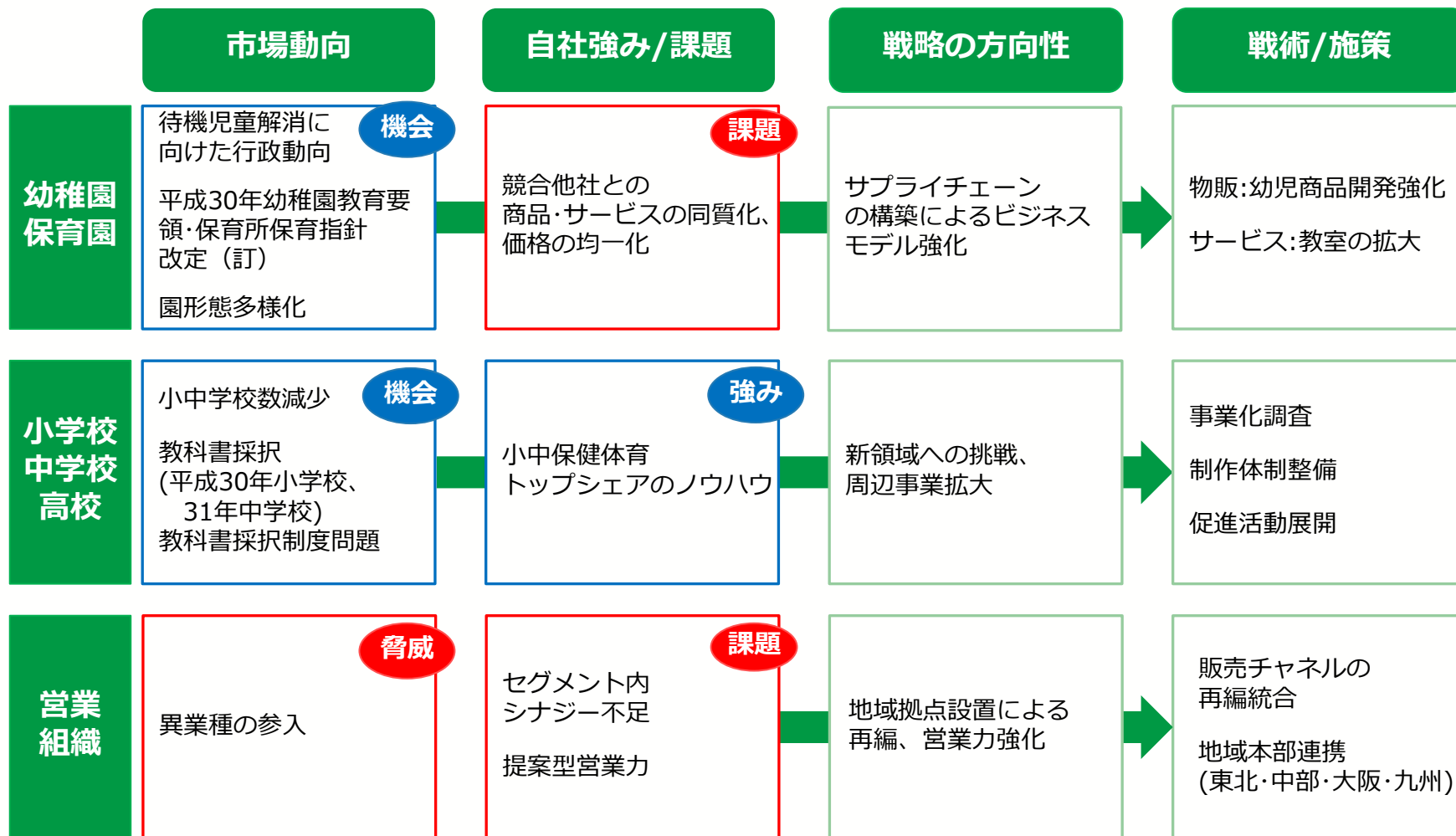
【2016年9月期 決算説明会資料より】

教育分野 戦略マップ <教育コンテンツ事業>



【2016年9月期 決算説明会資料より】

教育分野 戦略マップ <教育ソリューション事業>



【2016年9月期 決算説明会資料より】

医療福祉分野 戦略マップ <医療福祉サービス事業>

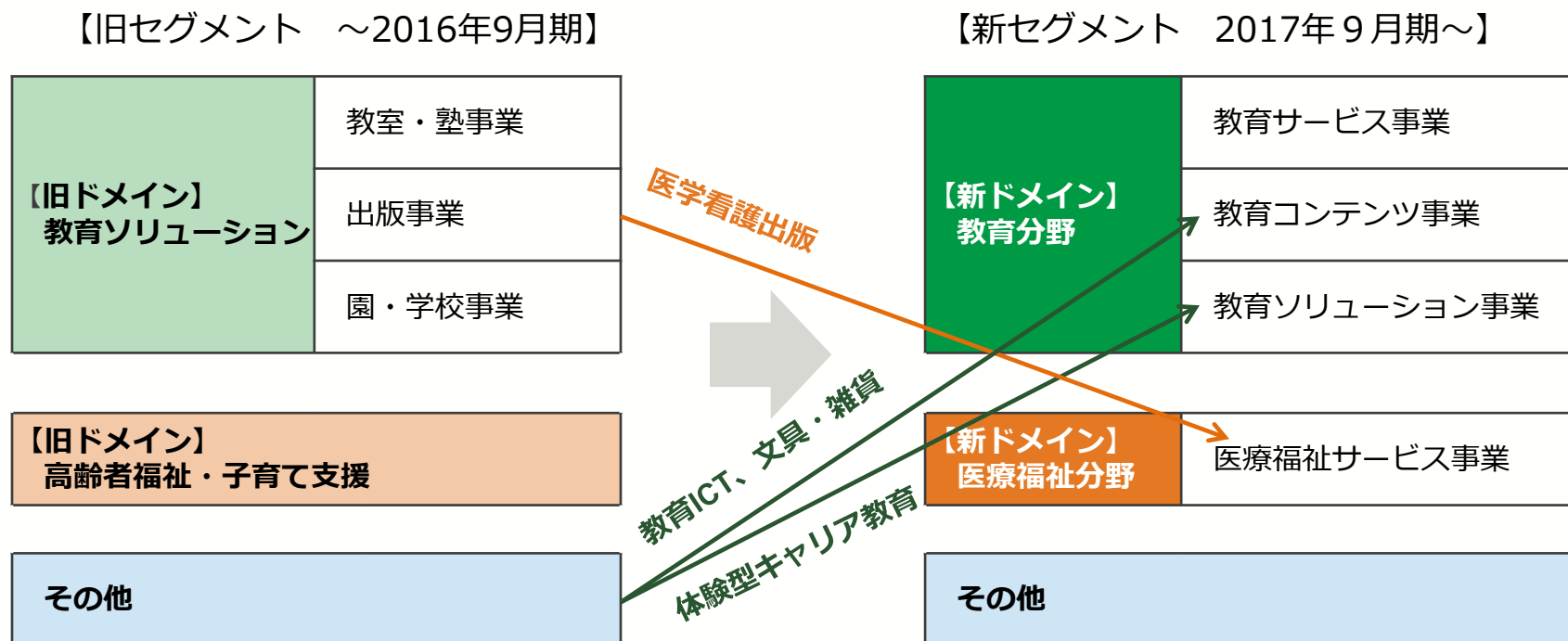


【2016年9月期 決算説明会資料より】

報告セグメントの変更

変更の目的

- ・事業ドメインを「教育分野」「医療福祉分野」に名称変更
- ・顧客視点へバリューチェーン重視のアプローチから再編成
- 医学看護出版を「医療福祉サービス事業」に移管
- シナジー効果が見込める「その他」の新規・小規模事業を4セグメントに移管



【2016年9月期 決算説明会資料より】

本資料には、将来の事業計画に関する記述が含まれております。
こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。

I Rに関するお問い合わせ先

株式会社学研ホールディングス 財務戦略室

〒141-8510 東京都品川区西五反田2-11-8

電話 : 03-6431-1050

F A X : 03-6431-1666